
思い上がりと女学生

蔦谷たつや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

思い上がりと女学生

【Nコード】

N8675B

【作者名】

蔦谷たつや

【あらすじ】

勘違いがよんだちよつとした悲劇、いや喜劇です。

よくもまあ、あなたはそんなことが出来るものだ。

わかって居るのですよ。すべて、あなたはいつも私のことが見たいがために、廊下を行ったり来たりしているのでしょう。見たいのならば、じっと止まって見ればいいのです。

そんなことで、なにも私はあなたのことをきらいになつたりはしませんし、そんなにうるうるして、私をちらりと、何度も見るのは、私はどうにも好きではありません。失礼です。そんなことは嫌いです。

もつとも、卑怯ではありませんか。男らしく、私を食事にも誘つてみなさい。返事はどうか、果たして、閉口してしまいますが。

「男らしく」、今ではこんなこと言つては、それはもう、ジェンダージェンダーと

矢鱈に、叫ぶ方がおられるかもしれませぬね。いや、この話題に、その問題は関係しません。

私は、ただ、ちらりと何度も見られることが気にいらぬのです。

そもそも、あなたは、私をどれだけ知っているつもりなのでしょうか。

私の名前はご存知？ 私の趣味は？ 私の誕生日は？ 私の性別

すら、はたして、あなたはご存知？

言つておきますけど、私ははあなたのことなど、てんで、知つてなんかいませんよ。私は、或いは赤の他人に見られるのが、気に障るのかもしれないね。

ほら、今もそうやって、ちらりとだけ見て居るのだ。せめて、目線をはさずなら、わからないようにしなさいよ。

さつきから黙つていないで、なにか少しくらい、うんでもすんで

も言えはいいいではないですか。まるで、私が幻覚にでも話している
みたいではないですか。

ええ。

名前？ 私はまゆみです。

いつも私の隣にいるめがねの女の子の名前？

．．．．自惚れていました。ごめんなさい。

女学生はただ赤面したのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8675b/>

思い上がりと女学生

2010年10月28日08時45分発行